

第5章 旧中学校区毎の公共施設を通じた 行政サービスの実態

第5章 旧中学校区毎の公共施設を通じた行政サービスの実態

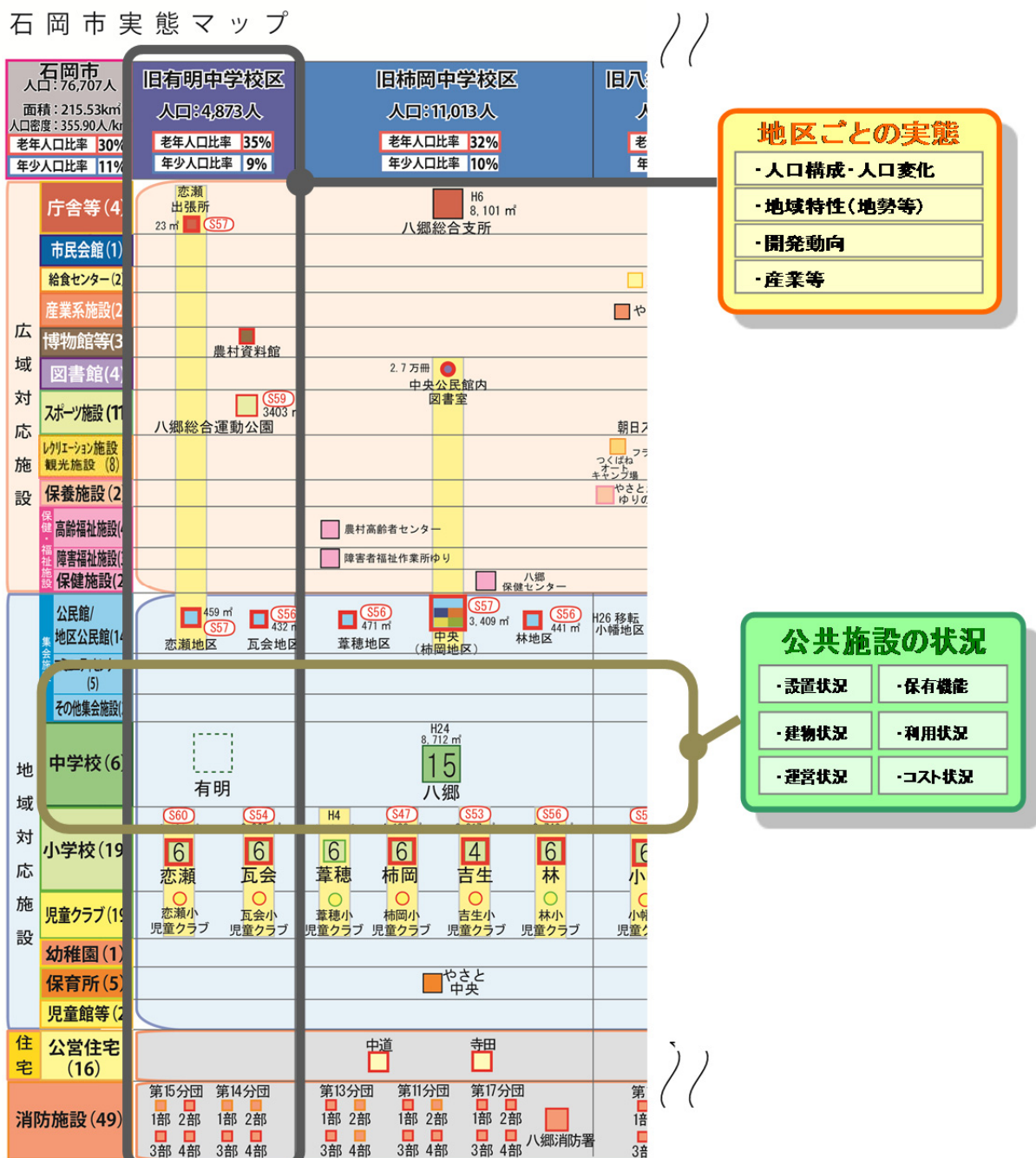
1. 地区毎の実態把握

今後、公共施設の有効活用を図っていくためには、第1・2章で把握した各地区の状況及び特性等に加え、第3・4章で整理・検証した用途ごとの公共施設の実態、今後の検討の視点及び老朽化状況を踏まえ、各地区の公共施設の配置状況等を整理し、課題を把握・整理することで、市全般にわたる総合的な施設の整備運営に対する方向性等を検討する必要があります。

第5章では、旧中学校区(8地区)ごとに、それぞれの地区の人口構造の変化、公共施設の配置状況等に加え、各施設の老朽化状況及び利用状況等から各地区の課題を抽出・整理します。

さらに総合的視点から公共施設の今後の方向性を明らかにして、地区のまちづくり等と連動した施設再編につなげていきます。

図 地区ごとの実態把握



(1) 旧有明中学校区

■主な公共施設の配置状況

＜広域対応施設＞

○市民会館、庁舎等

庁舎等として恋瀬出張所(公民館との複合施設)が設置されています。

○図書館

図書館は設置されていません。

○スポーツ施設

スポーツ施設として、八郷総合運動公園が設置されています。

○その他

博物館等として農村資料館が設置されており、消防施設として第14・15分団が設置されています。

	平成27年	平成47年	人口増減率
	4,873人	3,643人	-25.2%
	人口	人口	増減率
老年人口 (65歳～)	1,696人	1,611人	-5.0%
生産年齢人口 (15～64歳)	2,744人	1,758人	-35.9%
年少人口 (0～14歳)	433人	274人	-36.8%

＜地域対応施設＞

○学校施設

※児童生徒数は平成27年5月1日現在

小学校は、瓦会・恋瀬小学校の2校で、児童数は192人です。2校とも築30年以上となっています。

○公民館等集会施設

公民館は、恋瀬地区(出張所との複合施設)・瓦会地区公民館の2施設が設置されています。

○子育て支援施設

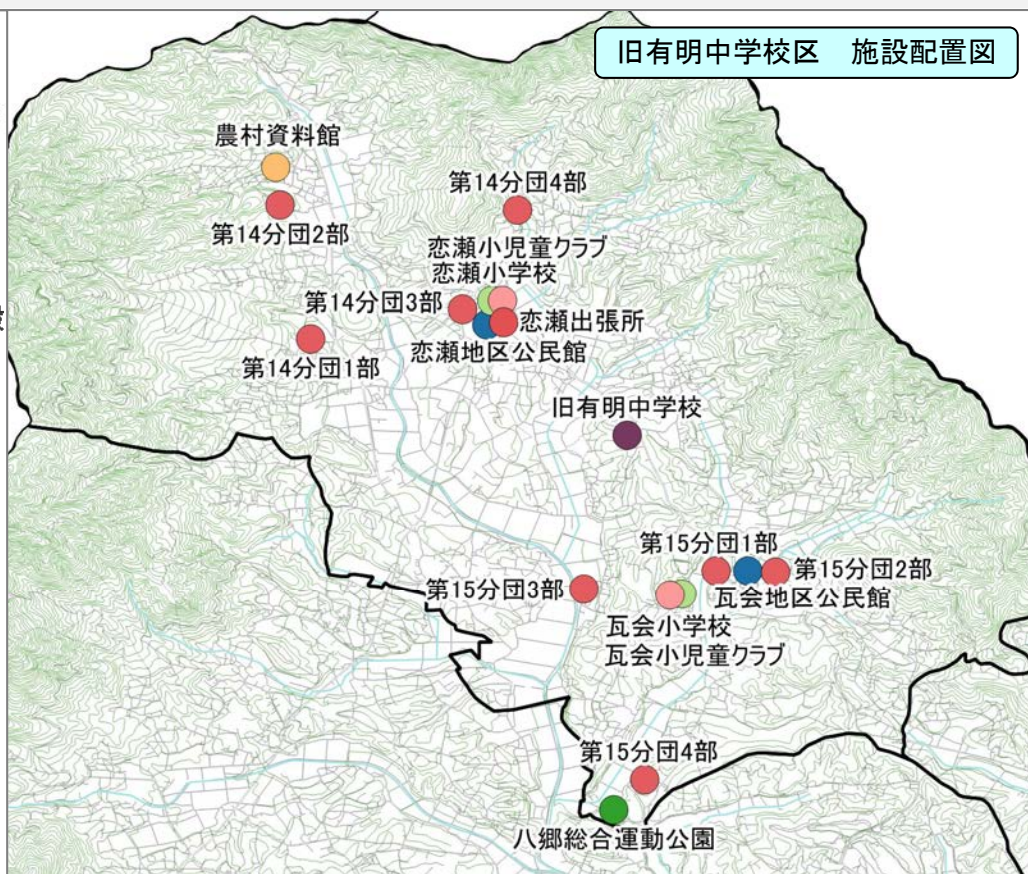
児童クラブは、瓦会小・恋瀬小児童クラブの2施設が設置されており、共に小学校との複合施設となっています。

○公営住宅

公営住宅は設置されていません。

凡例

- 市民会館
- 公民館/地区公民館
- コミュニティセンター等
- その他集会施設
- 図書館
- 博物館等
- スポーツ施設
- 介護施設・観光施設
- 保養施設
- 産業系施設
- 小学校
- 中学校
- 給食センター
- 保育所
- 幼稚園
- 児童館等
- 児童クラブ
- 高齢福祉施設
- 障害福祉施設
- 保健施設
- 庁舎等
- 消防施設
- 公営住宅
- その他





■今後の課題

人口構造や人口動態の変化から見る課題

区域内の人口は、市全体の約6%を占めています。今後20年間で約25%減少する見込みです。

年少人口は約37%の減少、老年人口は約5%の減少が見込まれており、市全体より少子高齢化の進行が緩やかとなっています。

今後は、人口構成や人口動態などの将来を見据えた施設の活用を検討が必要であると考えられます。

保全の観点から見る課題

区域内の施設のうち、恋瀬地区公民館との複合施設である恋瀬出張所、瓦会地区公民館、八郷総合運動公園、瓦会・恋瀬小学校、瓦会小・恋瀬小児童クラブは築30年を超えており、長寿命化が適さない可能性がある施設です。

今後の改修の際は、周辺施設の状況を踏まえ、更新の優先度等を総合的に決めていく必要があります。

配置状況や利用状況の変化から見る課題

八郷総合運動公園では、平成23年度から平成26年度にかけて利用者数が約9%の増加となっています。

今後は、類似機能の集約化や重複機能の見直しについての検討が必要であると考えられます。

施設の経年や老朽化から見る課題

区域内の小学校施設は、2校とも築30年以上となっており、計画的かつ効率的な施設整備手法の検討が必要で

(2) 旧柿岡中学校区

■主な公共施設の配置状況

<広域対応施設>

○市民会館、庁舎等

庁舎等として八郷総合支所が設置されています。

○図書館

中央公民館内に図書室が設置されており、複合施設となっています。

○スポーツ施設

スポーツ施設は設置されていませんが、隣接地区に八郷総合運動公園があります。

○その他

高齢福祉施設として農村高齢者センター，障害福祉施設として障害者福祉作業所ゆり，保健施設として八郷保健センターが設置されており，消防施設として八郷消防署，第11・13・17分団が設置されています。

<地域対応施設>

○学校施設

※児童生徒数は平成27年5月1日現在

小学校は，林・葦穂・吉生・柿岡小学校の4校で，児童数は471人です。中学校は，八郷中学校の1校で，生徒数は531人です。築30年以上は林・吉生・柿岡小学校の3校です。

○公民館等集会施設

公民館は，中央（柿岡地区）・林地区・葦穂地区公民館が設置されています。

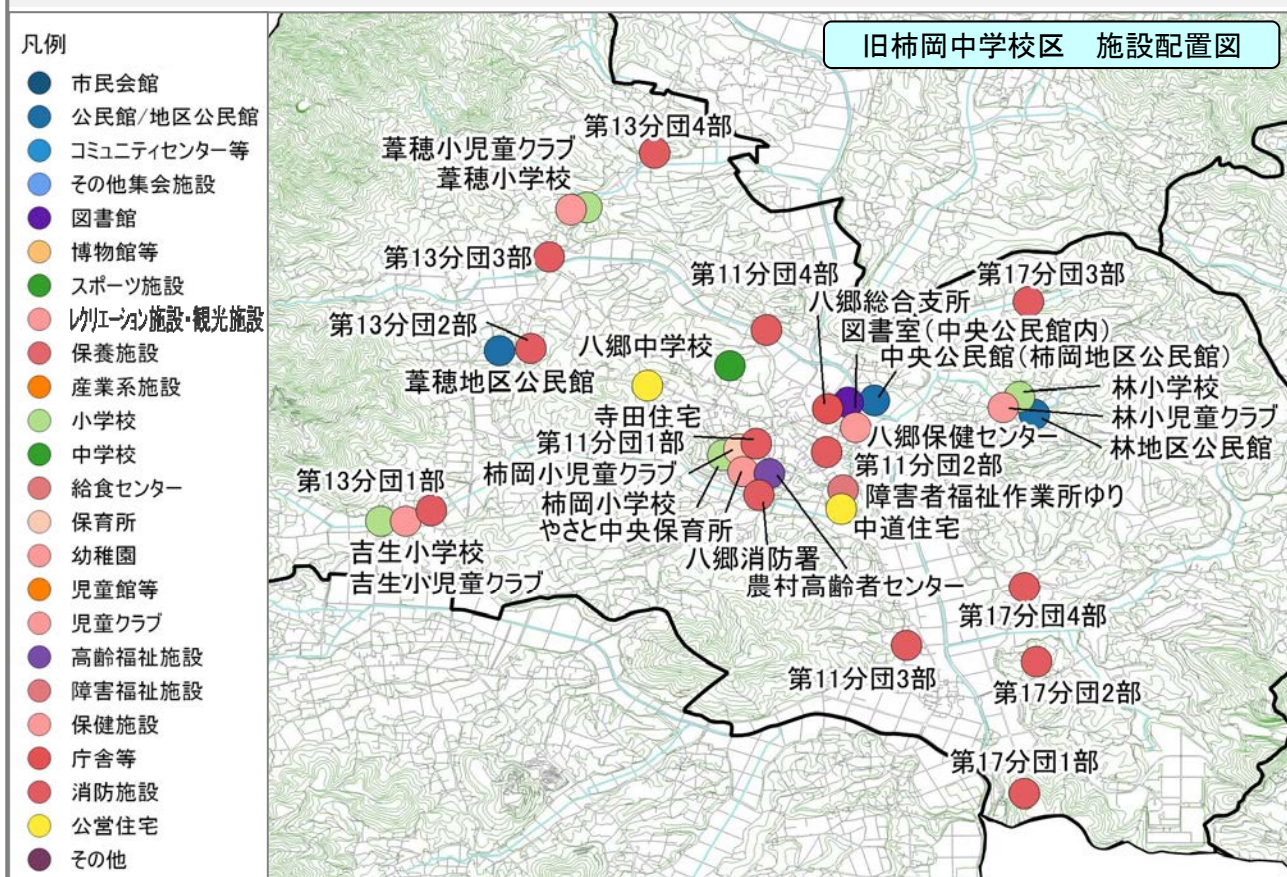
○子育て支援施設

保育所はやさと中央保育所が設置されています。児童クラブは，林小・葦穂小・吉生小・柿岡小児童クラブの4施設でいずれも小学校との複合施設です。

○公営住宅

中道・寺田住宅の2施設が設置されています。

	平成27年 11,013人	平成47年 8,654人	人口増減率 -21.4%
	人口	人口	増減率
老年人口 (65歳～)	3,483人	3,558人	2.2%
生産年齢人口 (15～64歳)	6,428人	4,413人	-31.3%
年少人口 (0～14歳)	1,102人	683人	-38.0%





■今後の課題

人口構造や人口動態の変化から見る課題

区域内の人口は、市全体の約14%を占めています。今後20年間で約21%減少する見込みです。

年少人口は約38%の減少、老年人口は約2%の増加が見込まれており、市全体より少子高齢化の進行が緩やかとなっています。

特に今後も増加する後期高齢者を見据えた必要機能の検証や地区内の施設の配置について検討する必要があります。

保全の観点から見る課題

区域内の施設のうち、中央（柿岡地区）・林地区・葦穂地区公民館、図書室（中央公民館内）、林・吉生・柿岡小学校、林小・吉生小・柿岡小児童クラブ、八郷消防署、中道・寺田住宅は築30年を超えており、長寿命化が適さない可能性がある施設です。

地区住民の身近な施設が一斉に更新時期を迎えているため、住民ニーズを踏まえながら効率的な施設更新について検討する必要があります。

配置状況や利用状況の変化から見る課題

中央公民館内の図書室では、平成24年度から平成26年度にかけて貸出点数が約4%減少、利用者数が約3%の増加となっています。

今後は、類似機能の集約化や重複機能の見直しについての検討が必要であると考えられます。

施設の経年や老朽化から見る課題

区域内の小・中学校施設は、5校のうち3校が築30年以上となっております。小学校は全校で小規模校となっており、適正規模についての検討とあわせて、計画的かつ効率的な施設整備手法の検討が必要です。

(3) 旧八郷南中学校区

■主な公共施設の配置状況

<広域対応施設>

○市民会館、庁舎等

市民会館、庁舎等は設置されていません。

○図書館

図書館は設置されていません。

○スポーツ施設

スポーツ施設として、朝日スポーツ交流施設が設置されています。

○その他

レクリエーション施設・観光施設として、つくばねオートキャンプ場、茨城県フラワーパーク、朝日里山学校、ふれあいの森の4施設、保養施設としてやさと温泉ゆりの郷、国民宿舎つくばねの2施設、産業系施設としてやさと農産物直売所、消防施設として第12・18分団が設置されています。

<地域対応施設>

○学校施設

※児童生徒数は平成27年5月1日現在

小学校は、小幡・小桜小学校の2校で、児童数は212人です。中学校は、八郷南中学校が廃止になっています。築30年以上は小幡小学校の1校となっています。また、八郷学校給食センターが設置されています。

○公民館等集会施設

公民館は、小幡地区・小桜地区公民館の2施設が設置されています。

○子育て支援施設

保育所はみなみ保育所が設置されています。児童クラブは、小幡小・小桜小児童クラブの2施設でいずれも小学校との複合施設です。

○公営住宅

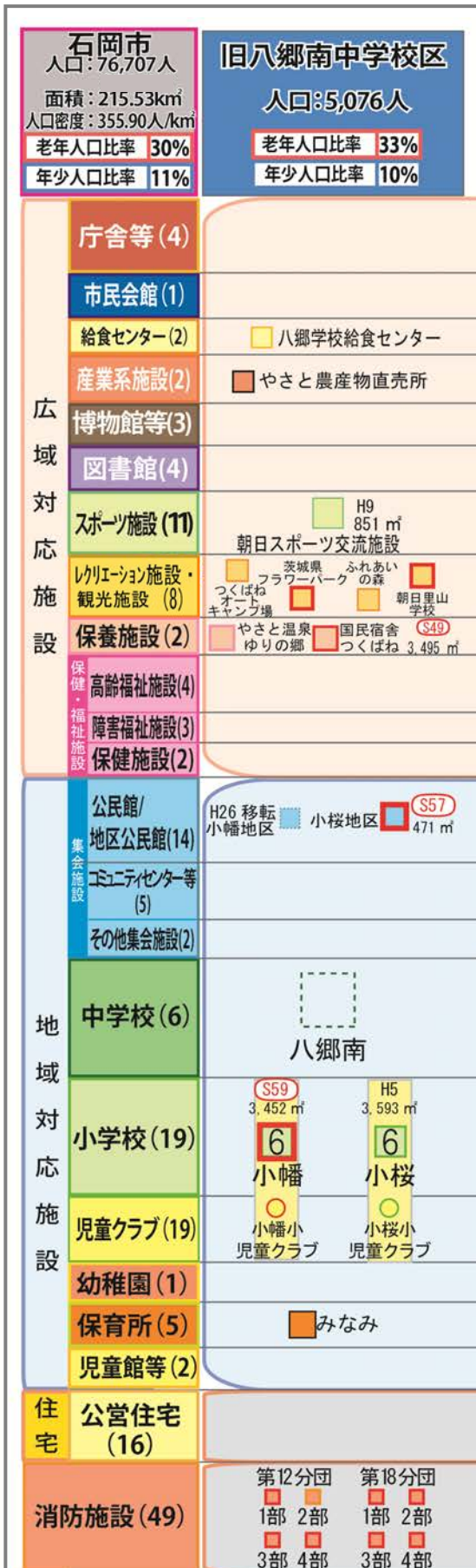
公営住宅は設置されていません。

	平成27年	平成47年	人口増減率
	5,076人	3,941人	-22.4%
	人口	人口	増減率
老年人口 (65歳~)	1,663人	1,706人	2.6%
生産年齢人口 (15~64歳)	2,915人	1,929人	-33.8%
年少人口 (0~14歳)	498人	306人	-38.6%

凡例

- 市民会館
- 公民館/地区公民館
- コミュニティセンター等
- その他集会施設
- 図書館
- 博物館等
- スポーツ施設
- レクリエーション施設・観光施設
- 保養施設
- 産業系施設
- 小学校
- 中学校
- 給食センター
- 保育所
- 幼稚園
- 児童館等
- 児童クラブ
- 高齢福祉施設
- 障害福祉施設
- 保健施設
- 庁舎等
- 消防施設
- 公営住宅
- その他





■今後の課題

人口構造や人口動態の変化から見る課題

区域内の人口は、市全体の約7%を占めています。今後20年間で約22%減少する見込みです。

年少人口は約39%の減少、老年人口は約3%の増加が見込まれており、市全体より少子高齢化の進行が緩やかとなっています。

地区内に高齢者施設はありませんが、今後は、地区の人口構成変化に応じた機能転換等、施設の活用を検討が必要であると考えられます。

保全の観点から見る課題

区域内の施設のうち、小桜地区・小幡地区公民館、茨城県フラワーパーク、朝日里山学校、国民宿舎つくばね、小幡小学校、小幡小児童クラブは築30年を超えており、長寿命化が適さない可能性がある施設です。

今後の改修の際は、周辺施設の状況を踏まえ、更新の優先度等を総合的に決めていく必要があります。

配置状況や利用状況の変化から見る課題

茨城県フラワーパークの利用者数は平成23年度から平成26年度にかけて43%の増加となっています。

単独施設が多い状況ですが、住民ニーズを踏まえた機能配置についての検討が必要であると考えられます。

施設の経年や老朽化から見る課題

区域内には、広域対応のレクリエーション施設・観光施設が集積しています。小学校施設は、2校とも小規模校となっており、2校のうち1校が築30年以上となっているため、計画的かつ効率的な施設整備手法の検討が必要です。

(4) 園部中学校区

■主な公共施設の配置状況

<広域対応施設>

○市民会館、庁舎等

庁舎等として園部出張所(公民館との複合施設)が設置されています。

○図書館

図書館は設置されていません。

○スポーツ施設

スポーツ施設は設置されていません。

○その他

消防施設として八郷消防署山崎出張所、消防団山崎倉庫、第16分団が設置されています。

<地域対応施設>

○学校施設

※児童生徒数は平成27年5月1日現在

小学校は、園部・東成井小学校の2校で、児童数は350人です。中学校は、園部中学校の1校で、生徒数は183人です。小学校の2校は、築30年以上となっています。

○公民館等集会施設

公民館として、園部地区公民館(出張所との複合施設)が設置されています。

○子育て支援施設

保育所は園部保育所が設置されています。児童クラブは、園部小・東成井小児童クラブの2施設でいずれも小学校との複合施設です。

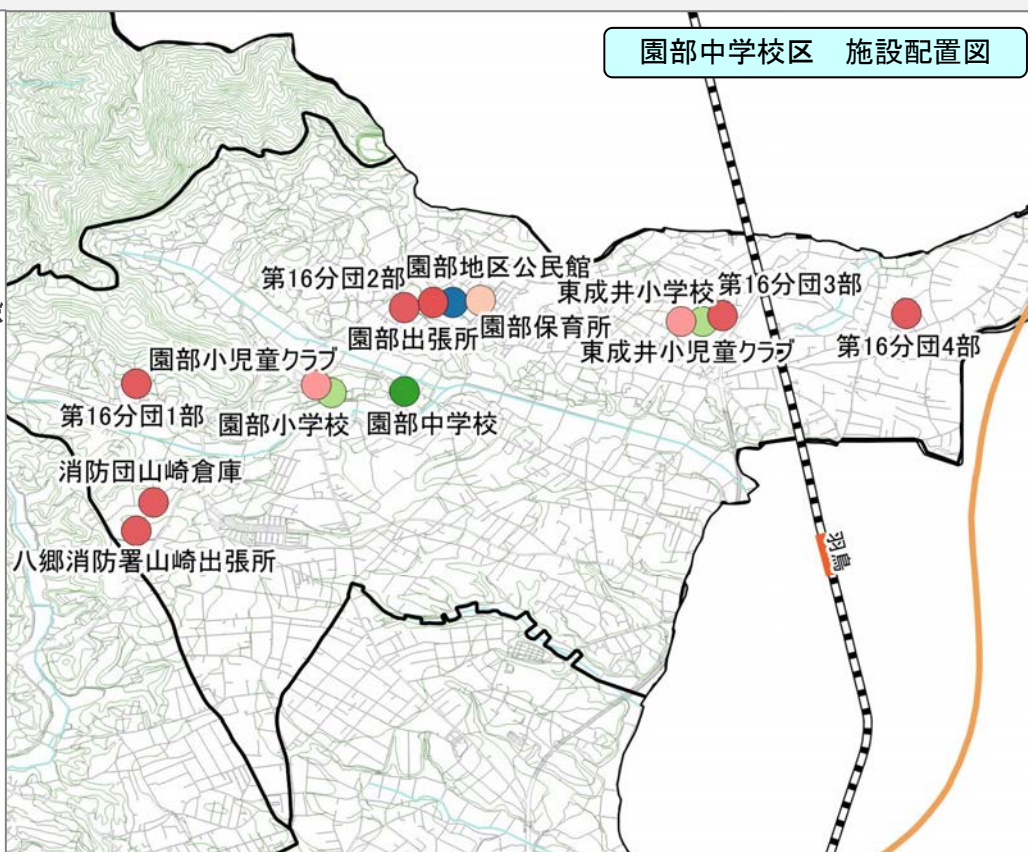
○公営住宅

公営住宅は設置されていません。

	平成27年 6,381人	平成47年 5,375人	人口増減率 -15.8%
	人口	人口	増減率
老年人口 (65歳~)	1,660人	2,047人	23.3%
生産年齢人口 (15~64歳)	3,961人	2,868人	-27.6%
年少人口 (0~14歳)	760人	460人	-39.5%

凡例

- 市民会館
- 公民館/地区公民館
- コミュニティセンター等
- その他集会施設
- 図書館
- 博物館等
- スポーツ施設
- レジャー施設・観光施設
- 保養施設
- 産業系施設
- 小学校
- 中学校
- 給食センター
- 保育所
- 幼稚園
- 児童館等
- 児童クラブ
- 高齢福祉施設
- 障害福祉施設
- 保健施設
- 庁舎等
- 消防施設
- 公営住宅
- その他





■今後の課題

人口構造や人口動態の変化から見る課題

区域内の人口は、市全体の約8%を占めています。今後20年間で約16%減少する見込みです。

年少人口は約40%の減少、老年人口は約23%の増加が見込まれており、市全体より少子高齢化の進行が急となっています。

区内の主要施設は老朽化が進行していますが、今後は、急激に変化する人口構成や人口動態などを見据えた施設の有効活用や更新等の検討が必要であると考えられます。

保全の観点から見る課題

区域内の施設のうち、園部地区公民館、園部・東成井小学校、園部小・東成井小児童クラブ、園部出張所は築30年を超えており、長寿命化が適さない可能性がある施設です。

地区住民に身近な施設がいずれも老朽化が進行しており一斉に更新時期を迎えるため、今後は、住民サービスの向上も視野に周辺施設の集約化・複合化等を含めた整備のあり方を検討する必要があります。

配置状況や利用状況の変化から見る課題

住民ニーズを踏まえ、不足する機能については空きスペース等の有効活用等を含めて、適切な機能の再配置について検討する必要があります。

施設の経年や老朽化から見る課題

区域内には、地区住民に身近な施設が配置されています。小・中学校施設3校のうち2校、出張所・公民館も築30年以上となっており、計画的かつ効率的な施設整備手法の検討が必要です。

(5) 府中中学校区

■主な公共施設の配置状況

<広域対応施設>

○市民会館、庁舎等

市民会館、庁舎等は設置されていません。

○図書館

図書館は設置されていません。

○スポーツ施設

スポーツ施設として、柏原野球公園、柏原球技公園、柏原サッカー公園、少年スポーツ広場の4施設が設置されています。

○その他

高齢福祉施設としてふれあいの里石岡ひまわりの館、地域包括支援センター、特別養護老人ホームのぞみの3施設、障害福祉施設として障害者福祉作業所ひまわり、保健施設として石岡保健センター、消防施設として石岡消防署柏原分署、第6分団が設置されています。

<地域対応施設>

○学校施設

※児童生徒数は平成27年5月1日現在

小学校は、府中・北・杉並小学校の3校で、児童数は893人です。中学校は、府中中学校の1校で、生徒数は498人です。うち、府中・杉並小学校が築30年以上となっています。また、石岡学校給食センターが設置されています。

○公民館等集会施設

公民館として、府中地区公民館が設置されています。また、その他集会施設として、杉並・鹿の子コミュニティセンター、勤労青少年ホームの3施設が設置されています。

○子育て支援施設

児童館等は児童館、児童クラブは、府中小・北小・杉並小児童クラブの3施設で、このうち府中小児童クラブは小学校との複合施設です。

○公営住宅

公営住宅は水久保・国分台・茶屋場・大砂南・北の谷住宅、池の台・正上内台団地、池の台住戸の8施設が設置されています。

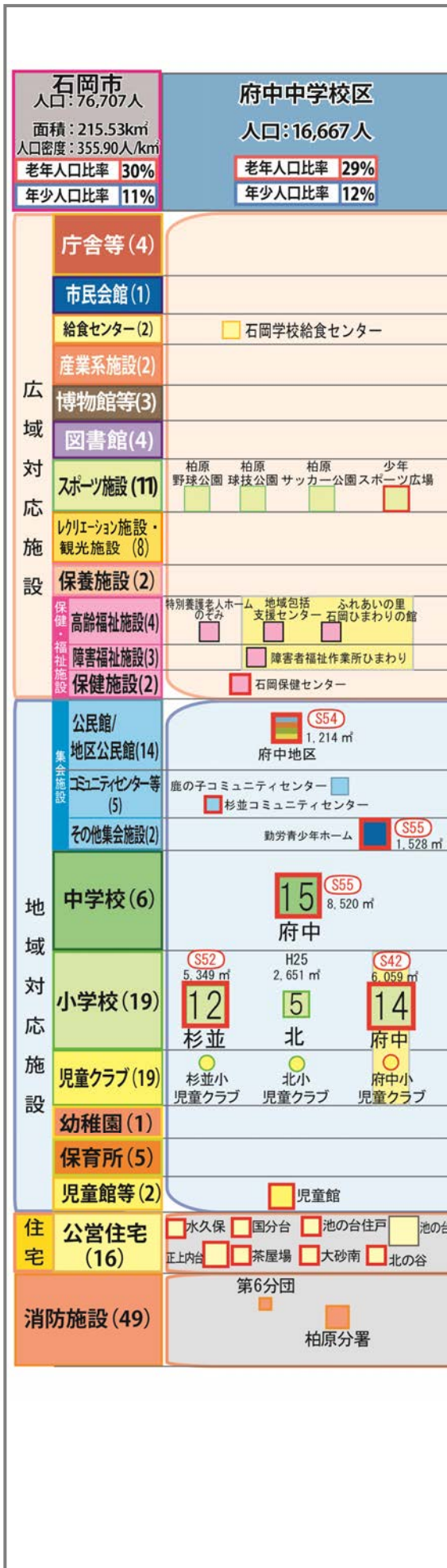
	平成27年	平成47年	人口増減率
	16,667人	13,821人	-17.1%
	人口	人口	増減率
老年人口 (65歳～)	4,783人	5,069人	6.0%
生産年齢人口 (15～64歳)	9,845人	7,555人	-23.3%
年少人口 (0～14歳)	2,039人	1,197人	-41.3%

凡例

- 市民会館
- 公民館/地区公民館
- コミュニティセンター等
- その他集会施設
- 図書館
- 博物館等
- スポーツ施設
- レクリエーション施設・観光施設
- 保養施設
- 産業系施設
- 小学校
- 中学校
- 給食センター
- 保育所
- 幼稚園
- 児童館等
- 児童クラブ
- 高齢福祉施設
- 障害福祉施設
- 保健施設
- 庁舎等
- 消防施設
- 公営住宅
- その他



府中中学校区 施設配置図



■今後の課題

人口構造や人口動態の変化から見る課題

区域内の人口は、市全体の約22%を占めています。今後20年間で約17%減少する見込みです。

年少人口は約41%の減少、老年人口は約6%の増加が見込まれており、市全体の少子高齢化の進行とほぼ同様となっています。

今後は、人口構成や人口動態などの変化に応じた既存施設の有効活用等の検討が必要であると考えられます。

保全の観点から見る課題

区域内の施設のうち、府中地区公民館、杉並コミュニティセンター、勤労青少年ホーム、府中・杉並小学校、児童館、府中小児童クラブ、石岡保健センター、水久保・国分台・茶屋場・大砂南・北の谷住宅、正上内台団地、池の台住戸は築30年を超えており、長寿命化が適さない可能性がある施設です。

他の地区に比べ広域対応施設も多く配置されていますが、今後は、施設の更新の優先度等を総合的に決めていく必要があります。

配置状況や利用状況の変化から見る課題

杉並・鹿の子コミュニティセンターの利用件数は、約3%の減少となっており、集会所機能を持つ施設の利用が減少しています。

今後は、類似機能の集約化や重複機能の見直しについての検討が必要であると考えられます。

施設の経年や老朽化から見る課題

区域内は、広域対応のスポーツ施設等が集積しています。また、子育て施設、福祉施設も充実しており、公営住宅も集積しています。これらのうち、特に公営住宅や学校施設、公民館等住民に身近な施設が築30年以上となっており、計画的かつ効率的な施設整備手法の検討が必要です。

(6) 国府中学校区

■主な公共施設の配置状況

<広域対応施設>

○市民会館，庁舎等

市民会館が設置されています。

○図書館

図書館は中央図書館が設置されています。

○スポーツ施設

スポーツ施設として染谷野球場，石岡市海洋センター，石岡小学校屋内温水プールの3施設が設置されています。

○その他

博物館等として，常陸風土記の丘，ふるさと歴史館（旧民俗資料館）の2施設，レクリエーション施設・観光施設として龍神の森キャンプ場，まちかど情報センター，観光案内所（H27廃止），まち蔵藍の4施設，障害福祉施設として地域活動支援センターけやきの家，消防施設として，第1・2・3・4・5分団，消防団本部車庫が設置されています。

	平成27年	平成47年	人口増減率
	7,954人	6,071人	-23.7%
	人口	人口	増減率
老年人口 (65歳～)	2,837人	2,636人	-7.1%
生産年齢人口 (15～64歳)	4,368人	2,967人	-32.1%
年少人口 (0～14歳)	749人	468人	-37.5%

<地域対応施設>

○学校施設

※児童生徒数は平成27年5月1日現在

小学校は，石岡小学校の1校で，児童数は329人です。中学校は，国府中学校の1校で，生徒数は159人です。2校とも築30年以上となっています。

○公民館等集会施設

公民館として，国府地区公民館が設置されています。

○子育て支援施設

保育所は第1保育所が設置されています。児童クラブは，石岡小児童クラブの1施設で小学校との複合施設です。

○公営住宅

公営住宅は古城住宅が設置されています。

凡例

- 市民会館
- 公民館/地区公民館
- コミュニティセンター等
- その他集会施設
- 図書館
- 博物館等
- スポーツ施設
- レクリエーション施設・観光施設
- 保養施設
- 産業系施設
- 小学校
- 中学校
- 給食センター
- 保育所
- 幼稚園
- 児童館等
- 児童クラブ
- 高齢福祉施設
- 障害福祉施設
- 保健施設
- 庁舎等
- 消防施設
- 公営住宅
- その他



石岡市		国府中学校区		
人口: 76,707人		人口: 7,954人		
面積: 215.53km ² 人口密度: 355.90人/km ²				
老年人口比率 30%		老年人口比率 36%		
年少人口比率 11%		年少人口比率 9%		
広域対応施設	庁舎等 (4)			
	市民会館 (1)	S42 4,621 m ²	市民会館	
	給食センター (2)			
	産業系施設 (2)			
	博物館等 (3)	常陸風土記の丘	ふるさと歴史館 (旧民俗資料館)	
	図書館 (4)	15.2万冊 1,521 m ²	S54 中央図書館	
	スポーツ施設 (11)	石岡市海洋センター S61 1,750 m ²	石岡小学校 屋内温水プール 染谷野球場	
	レクリエーション施設・観光施設 (8)	まちかど 情報センター	まち蔵 龍神の森 キャンプ場	
	観光施設 (8)	まち蔵	観光案内所	
	保健施設 (2)			
	保健・福祉施設	高齢福祉施設 (4)	障害福祉施設 (3)	保健施設 (2)
地域対応施設	公民館/地区公民館 (14)	S61 1,465 m ²	国府地区	
	コミュニティセンター等 (5)			
	その他集会施設 (2)			
	中学校 (6)	6 S58 7,125 m ²	国府	
	小学校 (19)	12 S42 6,980 m ²	石岡	
	児童クラブ (19)	○	石岡小児童クラブ	
	幼稚園 (1)			
	保育所 (5)	■	第1	
	児童館等 (2)			
	住宅	公営住宅 (16)	古城	
	消防施設 (49)	第1分団 第3分団 第5分団 第2分団 第4分団 消防団本部車庫		

■今後の課題

人口構造や人口動態の変化から見る課題

区域内の人口は、市全体の約10%を占めています。今後20年間で約24%減少する見込みです。

年少人口は約38%の減少、老年人口は約7%の減少が見込まれており、市全体より少子高齢化の進行が緩やかとなっています。

今後は、人口構成や人口動態などの変化に応じた機能の再配置の検討が必要であると考えられます。

保全の観点から見る課題

区域内の施設のうち、市民会館、中央図書館、ふるさと歴史館、石岡小学校、国府中学校、第1保育所、石岡小児童クラブ、地域活動支援センターけやきの家、古城住宅は築30年を超えており、長寿命化が適さない可能性がある施設です。

単独施設が多いため、今後は、更新の優先度等を総合的に決めていく必要があります。

配置状況や利用状況の変化から見る課題

国府地区公民館の利用件数は、平成23年度から平成26年度にかけて約14%の増加となっています。また、市民会館の利用者数は、約11%の増加となっており、集会機能を持つ施設の利用が増加しています。一方で、中央図書館では、平成24年度から平成26年度にかけて貸出点数が約2%、利用者数が約1%の減少となっています。

全市対象とした広域対応施設も多いですが、地域対応施設との役割やバランスを見ながら効果的な施設の配置について検討する必要があります。

施設の経年や老朽化から見る課題

区域内は石岡駅を中心に市街地を形成し、広域対応の市民会館やレクリエーション施設・観光施設等、本市の業務の中核施設が集積しています。小・中学校施設は、2校ともが築30年以上となっており、老朽化が進行しているため、計画的かつ効率的な施設整備手法の検討が必要です。

(7) 石岡中学校区

■主な公共施設の配置状況

<広域対応施設>

○市民会館、庁舎等

庁舎等として市役所が設置されています。

○図書館

東地区公民館内に図書室が設置されており、複合施設となっています。

○スポーツ施設

スポーツ施設として、小井戸運動広場、石岡運動公園体育館が設置されています。

○その他

産業系施設として農産物直売センター石岡そだち、消防施設として消防本部・石岡消防署、第7分団が設置されています。

	平成27年	平成47年	人口増減率
	18,258人	15,893人	-13.0%
	人口	人口	増減率
老年人口 (65歳～)	4,370人	5,613人	28.4%
生産年齢人口 (15～64歳)	11,424人	8,898人	-22.1%
年少人口 (0～14歳)	2,464人	1,382人	-43.9%

<地域対応施設>

○学校施設

※児童生徒数は平成27年5月1日現在

小学校は、東・南小学校の2校で、児童数は1,071人です。中学校は、石岡中学校の1校で、生徒数は549人です。築30年以上は南小学校と石岡中学校の2校となっています。

○公民館等集会施設

公民館は、東地区公民館及び中央公民館東大橋分館の2施設が設置されており、その他集会施設として、南台コミュニティセンター、旭台会館が設置されています。

○子育て支援施設

保育所は第2保育所が設置されています。幼稚園は東幼稚園が設置されています。児童館等は児童センターが1施設、児童クラブは、東小・南小児童クラブの2施設が設置されています。

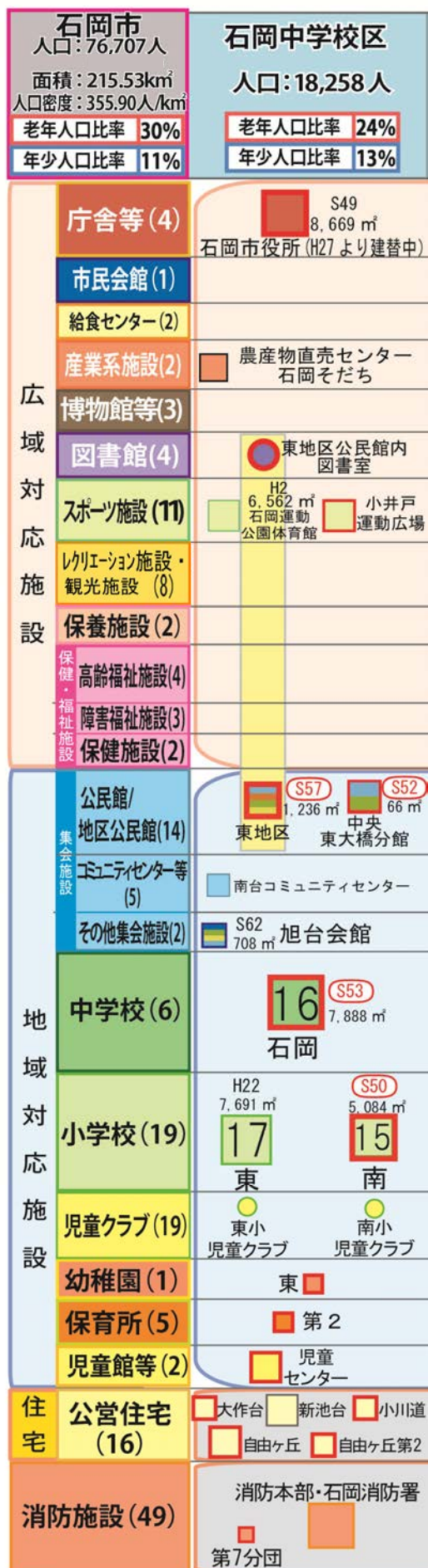
○公営住宅 大作台・小川道・自由ヶ丘第2住宅・自由ヶ丘・新池台団地の5施設が設置されています。

凡例

- 市民会館
- 公民館/地区公民館
- コミュニティセンター等
- その他集会施設
- 図書館
- 博物館等
- スポーツ施設
- 介護施設・観光施設
- 保養施設
- 産業系施設
- 小学校
- 中学校
- 給食センター
- 保育所
- 幼稚園
- 児童館等
- 児童クラブ
- 高齢福祉施設
- 障害福祉施設
- 保健施設
- 庁舎等
- 消防施設
- 公営住宅
- その他



石岡中学校区 施設配置図



■今後の課題

人口構造や人口動態の変化から見る課題

区域内の人口は、市全体の約24%を占めています。今後20年間で約13%減少する見込みです。

年少人口は約44%の減少、老年人口は約28%の増加が見込まれており、市全体より少子高齢化の進行が急となっています。

急速に変化する人口構成や人口動態と施設の更新、機能再編をあわせて検討することが必要であると考えられます。

保全の観点から見る課題

区域内の施設のうち、東地区公民館、中央公民館東大橋分館、図書室（東地区公民館内）、南小学校、石岡中学校、第2保育所、東幼稚園、児童センター、大作台・小川道住宅、自由ヶ丘団地、自由ヶ丘第2住宅は築30年を超えており、長寿命化が適さない可能性がある施設です。

特に地域対応施設で老朽化が進行しているため、施設更新の際には周辺施設の状況を踏まえ、一体的な整備などについて検討する必要があります。

配置状況や利用状況の変化から見る課題

東地区公民館、中央公民館東大橋分館の利用件数は、平成23年度から平成26年度にかけて約27%の減少となっています。また、旭台会館の利用者数は、約10%の増加となっており、集会機能を持つ施設の利用が全体としては増加しております。東地区公民館内の図書室では、平成24年度から平成26年度にかけて利用者数が約11%の増加となっています。

今後は、集会機能等の最適な配置についての検討が必要であると考えられます。

施設の経年や老朽化から見る課題

区域内は石岡駅を中心に市街地を形成し、広域対応の市役所や石岡運動公園体育館、消防本部等、本市の業務の中核施設が集積しています。小・中学校施設は、3校のうち2校が築30年以上となっており、計画的かつ効率的な施設整備手法の検討が必要です。

(8) 城南中学校区

■主な公共施設の配置状況

<広域対応施設>

○市民会館、庁舎等

市民会館、庁舎等は設置されていません。

○図書館

城南地区公民館内に図書室が設置されており、複合施設となっています。

○スポーツ施設

スポーツ施設は設置されていません。

○その他

消防施設として、石岡消防署愛郷橋出張所、第8・9・10分団が設置されています。

	平成27年 6,485人	平成47年 5,000人	人口増減率 -22.9%
	人口	人口	増減率
老年人口 (65歳~)	2,279人	2,122人	-6.9%
生産年齢人口 (15~64歳)	3,615人	2,466人	-31.8%
年少人口 (0~14歳)	591人	412人	-30.3%

<地域対応施設>

○学校施設

※児童生徒数は平成27年5月1日現在

小学校は、高浜・三村・関川小学校の3校で、児童数は212人です。中学校は、城南中学校の1校で、生徒数は141人です。4校とも築30年以上となっています。

○公民館等集会施設

公民館は、城南地区公民館、中央公民館高浜分館の2施設が設置されており、その他の集会施設として、関川地区・三村地区ふれあいセンターの2施設が設置されています。

○子育て支援施設

児童クラブは、高浜小・三村小・関川小児童クラブの3施設で、いずれも小学校との複合施設です。

○公営住宅

公営住宅は設置されていません。

凡例

- 市民会館
- 公民館/地区公民館
- コミュニティセンター等
- その他集会施設
- 図書館
- 博物館等
- スポーツ施設
- レジャー施設・観光施設
- 保養施設
- 産業系施設
- 小学校
- 中学校
- 給食センター
- 保育所
- 幼稚園
- 児童館等
- 児童クラブ
- 高齢福祉施設
- 障害福祉施設
- 保健施設
- 庁舎等
- 消防施設
- 公営住宅
- その他





■今後の課題

人口構造や人口動態の変化から見る課題

区域内の人口は、市全体の約9%を占めています。今後20年間で約23%減少する見込みです。

年少人口は約30%の減少、老年人口は約7%の減少が見込まれており、市全体より少子高齢化の進行が緩やかとなっています。

今後は、少子高齢化に応じた必要機能の再検証を行いながら、既存施設の有効活用等の検討が必要であると考えられます。

保全の観点から見る課題

区域内の施設のうち、高浜・三村・関川小学校、城南中学校、高浜小・三村小・関川小児童クラブ、石岡消防署愛郷橋出張所は築30年を超えており、長寿命化が適さない可能性がある施設です。

学校施設の改修の際は、周辺施設の状況を踏まえ、地域住民に必要な機能の導入等も含めた検討が必要です。

配置状況や利用状況の変化から見る課題

城南地区公民館の利用件数は、平成23年度から平成26年度にかけて約9%の増加となっています。また、関川・三村地区ふれあいセンターの利用者数は、約12%の増加となっており、集会機能を持つ施設の利用が増加しています。また、城南地区公民館内の図書室では、平成24年度から平成26年度にかけて貸出点数が約57%、利用者数が約44%の増加となっています。

地域のニーズに応じて新たな機能導入等も含めて、施設の有効活用等が必要であると考えられます。

施設の経年や老朽化から見る課題

区域内の小・中学校施設は、4校ともが築30年以上となっており、学校の適正規模の検討とあわせて、計画的かつ効率的な施設整備手法の検討が必要です。

